

日々子どもたちの姿をお届けする
都台こども園・にこにこ園 園通信

あそぶ

2020年7月1日(水)

NO.2

都台こども園・にこにこ園 保育方針

心の触れ合いを大切にし、 豊かな感性を育てます

園通信を発行をするにあたり、あらためて園の保育方針についてご紹介させていただきます。

保育方針とは、園の柱であり、私たちの原点でもあります。私たちはこれらの方針に基づき、日々子どもたちと向き合っていますので、ぜひご一読いただければと思います。

学びの芽から育まれる豊かな感性

都台こども園・にこにこ園では、子どもたちが「やってみたい」「おもしろそうだな」と心を動かしたことに自ら取り組もうとする「学びの芽」を大切にしています。園では大人が子どもたちに全てを教え、1つ1つの活動を効率よく進めるようになることは目指していません。子どもたち1人1人が自分のやりたいことに取り組み、自分で計画を立てたり、うまくいくように工夫をしたり、友だちと協力し合ったり、時にぶつかりながらも自分たちの思いを伝え合ったり、失敗をしてもあきらめずに最後までがんばろうとしたりする中で、豊かな感性を育てていきたいと考えています。



人生の土台となる生きる力

幼児期の生活やあそびは、その先の人生を支える大きな土台になるといわれています。木で例えるならば、立派な木が育つための根っこを育てる時期。目には見えないけれど、将来につながる大切な時期なのです。幼児期に大切な仲間と共に自分がやりたいことに夢中になって取り組む体験は、社会に出てからも、物事に主体的に取り組み、自ら考え、様々な問題に積極的に対応し、解決していこうとする力につながっていきます。都台こども園・にこにこ園は、そんな子どもたちの夢中があふれる場所となり、20年・30年後も、自分の人生を自分らしく生きていける、生涯にわたる「生きる力」が育つ場所でありたいと考えています。